



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 ロンシール工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4224 URL <http://www.lonseal.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 一也
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)江口 幸治 (TEL)029-832-8805
 定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 平成24年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|---------------|-------|--------|------|----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 18,101 | 4.6 | 627 | △15.2 | 603 | △3.3 | 305 | 26.0 |
| 23年3月期 | 17,297 | △3.9 | 739 | 40.5 | 624 | 65.0 | 242 | 15.8 |
| (注) 包括利益 | 24年3月期 | | 307百万円(49.7%) | | 23年3月期 | | 205百万円(△18.8%) | |

| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | | 自己資本 当期純利益率 | | 総資産 経常利益率 | | 売上高 営業利益率 | |
|--------------|----------------|----|---------------------------|---|----------------|-----|--------------|---|--------------|--|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | % | % | % | % | % | |
| 24年3月期 | 6 | 37 | — | — | 3.6 | 3.2 | 3.5 | | | |
| 23年3月期 | 5 | 05 | — | — | 3.0 | 3.3 | 4.3 | | | |
| (参考) 持分法投資損益 | 24年3月期 | | —百万円 | | 23年3月期 | | —百万円 | | | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-----------|--------|---|----------|---|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | % | 円 | 銭 | |
| 24年3月期 | 19,091 | — | 8,538 | — | 44.7 | 177 | 90 | |
| 23年3月期 | 19,171 | — | 8,233 | — | 42.9 | 171 | 51 | |
| (参考) 自己資本 | 24年3月期 | | 8,530百万円 | | 23年3月期 | | 8,224百万円 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 期末残高 | |
|--------|----------------------|---|----------------------|---|----------------------|---|-------------------|---|
| | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 |
| 24年3月期 | 726 | — | △97 | — | △991 | — | 3,665 | — |
| 23年3月期 | 1,340 | — | △131 | — | △474 | — | 4,033 | — |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|----|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 百万円 | % |
| 23年3月期 | — | — | — | 0.00 | — | — | — | — |
| 24年3月期 | — | — | — | 0.00 | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 平成25年3月期の配当予想額につきましては、現時点で未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----------|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,800 | 2.9 | 100 | △56.9 | 100 | △44.7 | 50 | △46.6 | 1 | 04 |
| 通期 | 18,500 | 2.2 | 450 | △28.3 | 450 | △25.4 | 220 | △27.9 | 4 | 56 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年3月期 | 48,253,094株 | 23年3月期 | 48,253,094株 |
|---------------------|--------|-------------|--------|-------------|
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期 | 301,910株 | 23年3月期 | 299,725株 |
| ③ 期中平均株式数 | 24年3月期 | 47,952,001株 | 23年3月期 | 47,975,632株 |

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 16,360 | 1.0 | 325 | △41.8 | 373 | △26.7 | 190 | △3.0 |
| 23年3月期 | 16,203 | 0.4 | 560 | 20.1 | 509 | 48.8 | 196 | 13.3 |

| | 1株当たり当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | |
|--------|------------|----|-----------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 24年3月期 | 3 | 97 | — | — |
| 23年3月期 | 4 | 09 | — | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|--------|------|-------|------|--------|----|----------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 24年3月期 | 19,002 | 44.4 | 8,438 | 44.4 | 175 | 99 | 175 | 99 |
| 23年3月期 | 19,227 | 42.8 | 8,233 | 42.8 | 171 | 71 | 171 | 71 |

(参考) 自己資本 24年3月期 8,438百万円 23年3月期 8,233百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

- ・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 経営成績 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 経営方針 | 5 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 5 |
| (2) 目標とする経営指標 | 5 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 | 5 |
| (4) 会社の対処すべき課題 | 5 |
| 3. 連結財務諸表 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 13 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 | 13 |
| (7) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (セグメント情報) | 14 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |
| 4. その他 | 17 |
| 役員の異動 | 17 |

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復基調にあるものの、原発事故や電力不足による不安に加え世界経済の減速や円高傾向の継続等により景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

建設業界及び合成樹脂加工品業界におきましては、需要に回復傾向がみられるものの販売競争の激化、原材料価格の値上がり等により引き続き厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような状況の下、営業力の強化と積極的な販売活動に努めてまいりました結果、当連結会計年度の連結売上高は、181億1百万円（前期比4.6%増）となりました。

損益面につきましては、当連結会計年度においても徹底したコストダウン及び諸経費の削減などの諸施策を実施してまいりましたが、原材料価格の値上がり等により、営業利益は6億27百万円（前期比15.2%減）、経常利益は6億3百万円（前期比3.3%減）となりました。また、当期純利益は前期に比べ震災関係等の多額の特別損失の計上がなく3億5百万円（前期比26.0%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（合成樹脂加工品事業）

主力の建材製品は、国内床材、防水資材、住宅資材が売上増となりましたが、輸出用床材及び壁装用品は売上減となりました。また、産業資材製品は、車両用床材及び欧米向けフィルムが売上減となりました。

この結果、売上高は176億35百万円（前期比4.8%増）、セグメント利益は2億89百万円（前期比30.0%減）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸料収入は、売上高は4億66百万円（前期と同額）、セグメント利益は3億38百万円（前期比3.4%増）となりました。

（注）セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<次期の見通し>

今後の見通しにつきましては、国内経済は東日本大震災の復興需要が見込まれるものの、世界経済の景気動向、円高の進展、電気料金の上昇、原油高による原材料価格の高騰など、先行き不透明な事業環境が続くものと思われまます。

当社グループはこのような環境の下、引き続き生産性の向上、経費削減に努め、事業環境の変化にスピーディーに対応できる体制整備と、構造改革諸施策を強力に推し進めるとともに、新商品・工法の開発を併せて実施し、安定した利益を確保し続ける企業への変革に努めてまいります。

次期の平成25年3月期連結業績見通しは、売上高185億円、経常利益4億50百万円、当期純利益2億20百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の流動資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品等の増加により130億59百万円（前期比5億20百万円増加）となりました。固定資産は、有形固定資産の減少により60億32百万円（前期比5億99百万円減少）となりました。その結果、資産合計では、190億91百万円（前期比79百万円減少）となりました。

当連結会計年度末の流動負債は、支払手形及び買掛金等の増加により88億84百万円（前期比3億89百万円増加）となりました。固定負債は、長期借入金、預り保証金等の減少により16億68百万円（前期比7億75百万円減少）となりました。その結果、負債合計では、105億52百万円（前期比3億85百万円減少）となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は、利益剰余金の増加により85億38百万円になりました。これは、当期純利益3億5百万円によるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少し、当連結会計年度は36億65百万円となりました。

当連結会計年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況と原因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、7億26百万円（前期収入13億40百万円）となりました。これは主に売上債権、たな卸資産の増加がありましたが、税金等調整前当期純利益、減価償却費に加え、仕入債務の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、97百万円（前期支出1億31百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、9億91百万円（前期支出4億74百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出によるものです。

なお、当企業集団のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりです。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成20年3月期 | 平成21年3月期 | 平成22年3月期 | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率（%） | 36.5 | 38.9 | 42.3 | 42.9 | 44.7 |
| 時価ベースの自己資本比率（%） | 17.2 | 19.7 | 26.1 | 27.5 | 24.9 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年） | 5.0 | 25.1 | 2.9 | 3.6 | 5.4 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍） | 12.7 | 2.3 | 17.5 | 14.7 | 10.2 |

（注）自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

配当金につきましては、将来の事業展開と内部留保のために必要な内部留保を確保しつつ、永続的かつ安定的な利益還元を行うことを経営の基本としております。

当期では繰越損失が解消されない状況から無配とさせていただきたいと思っております。

なお、当社は当面、早期の繰越損失の解消に努め、内部留保を充実させることにより、企業体質を強化し、安定的な利益還元を目指してまいりますので、次期の配当については、現時点において未定とさせていただきます。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、どんな環境下にあっても『ステークホルダーの信頼に応え続けること』を経営の基本としております。そのためには、『経営のあるべき姿』を次のように捉えています。

①顧客のニーズに合致するものを良質適価で提供する会社

顧客のニーズに合致するものを良質適価で提供する会社とは、市場の要求にいち早く対応できる会社であり、市場を創造できる会社です。創造的な高品質・高機能の商品をスピーディーに市場に投入できる開発力をもった会社であり、コスト競争力を実現できる技術力をもった会社であります。

②安定した配当ができる会社

安定した配当ができる会社とは、長期に安定した株主価値の創造をし、配当を継続する会社であります。

③社会状況に適応した運営を行う会社

社会状況に適応した運営を行う会社とは、どんな環境下にあっても生き抜く適者たる存在になるために、環境に適応し続ける会社であります。

④従業員が生活設計を描ける会社

従業員が生活設計を描ける会社とは、会社の展望を見える形で従業員に示せる会社であり、従業員自身は自分の役割を果たすことを通してエンプロイアビリティー（雇用される市場価値）向上を実現する会社であります。

(2) 目標とする経営指標

株主価値を効率よく創造するために、売上高経常利益率を主な経営指標とします。中期の目標としては5%以上の売上高経常利益率を目指します。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

早期復配に向けて、3ヶ年計画の方向性は次の通りであります。

①既存事業分野における選択と集中

事業内容を見直し、今後成長が期待できるコア分野に対して、市場への差別化商品の早期投入、効率的な営業により利益を実現していきます。また、将来性が見込めない事業分野及び商品については、縮小、撤退を図り、コア分野へ経営資源を集中させます。

②コストダウン

あらゆるプロセスにおいて、コストを削減します。

③新規事業展開

コア・コンピタンスを生かしつつ、成長性ある事業・市場への展開に取り組みます。

(4) 会社の対処すべき課題

前述の方針および計画を達成するため、以下の課題に取り組んでまいります。

①事業活動の効率化およびスピードアップ

②市場のニーズに適応した商品の早期開発・上市

③環境に配慮した対応および環境対応商品の提供

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,033 | 3,665 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,489 | 6,147 |
| 商品及び製品 | 1,776 | 2,147 |
| 仕掛品 | 149 | 83 |
| 原材料及び貯蔵品 | 603 | 631 |
| 繰延税金資産 | 222 | 182 |
| その他 | 284 | 219 |
| 貸倒引当金 | △20 | △18 |
| 流動資産合計 | 12,539 | 13,059 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,478 | 9,480 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,589 | 9,510 |
| 工具、器具及び備品 | 3,230 | 3,182 |
| 土地 | 2,434 | 2,434 |
| リース資産 | 166 | 166 |
| 建設仮勘定 | 11 | 25 |
| 減価償却累計額 | △19,152 | △19,455 |
| 有形固定資産合計 | 5,758 | 5,343 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 145 | 106 |
| 無形固定資産合計 | 145 | 106 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 341 | 362 |
| 繰延税金資産 | 231 | 97 |
| その他 | 188 | 153 |
| 貸倒引当金 | △33 | △31 |
| 投資その他の資産合計 | 728 | 581 |
| 固定資産合計 | 6,632 | 6,032 |
| 資産合計 | 19,171 | 19,091 |

ロンシール工業株式会社(4224)平成24年3月期決算短信

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,715 | 4,017 |
| 短期借入金 | 3,178 | 3,176 |
| リース債務 | 34 | 35 |
| 未払法人税等 | 57 | 89 |
| 賞与引当金 | 157 | 148 |
| 災害損失引当金 | 87 | — |
| 売上値引引当金 | — | 73 |
| その他 | 1,263 | 1,344 |
| 流動負債合計 | 8,494 | 8,884 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,060 | 482 |
| リース債務 | 70 | 35 |
| 預り保証金 | 1,174 | 1,012 |
| 退職給付引当金 | 84 | 83 |
| 環境対策引当金 | 25 | 25 |
| その他 | 28 | 28 |
| 固定負債合計 | 2,443 | 1,668 |
| 負債合計 | 10,938 | 10,552 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,007 | 5,007 |
| 資本剰余金 | 4,120 | 4,120 |
| 利益剰余金 | △733 | △428 |
| 自己株式 | △38 | △38 |
| 株主資本合計 | 8,356 | 8,661 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17 | 33 |
| 為替換算調整勘定 | △149 | △164 |
| その他の包括利益累計額合計 | △131 | △131 |
| 少数株主持分 | 8 | 8 |
| 純資産合計 | 8,233 | 8,538 |
| 負債純資産合計 | 19,171 | 19,091 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 売上高 | 17,297 | 18,101 |
| 売上原価 | 11,326 | 12,335 |
| 売上総利益 | 5,970 | 5,765 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,230 | 5,138 |
| 営業利益 | 739 | 627 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 9 | 10 |
| 不動産賃貸料 | 64 | 62 |
| その他 | 23 | 23 |
| 営業外収益合計 | 97 | 96 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 91 | 73 |
| 退職給付費用 | 59 | — |
| 為替差損 | 50 | 17 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 16 |
| その他 | 11 | 12 |
| 営業外費用合計 | 213 | 120 |
| 経常利益 | 624 | 603 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 0 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 10 | 1 |
| 投資有価証券評価損 | 51 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 7 | — |
| 災害による損失 | 89 | — |
| 特別損失合計 | 159 | 2 |
| 税金等調整前当期純利益 | 465 | 601 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 89 | 127 |
| 法人税等調整額 | 131 | 166 |
| 法人税等合計 | 221 | 294 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 243 | 307 |
| 少数株主利益 | 1 | 1 |
| 当期純利益 | 242 | 305 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 243 | 307 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 15 |
| 為替換算調整勘定 | △41 | △14 |
| その他の包括利益合計 | △38 | 0 |
| 包括利益 | 205 | 307 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 205 | 306 |
| 少数株主に係る包括利益 | 0 | 1 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 5,007 | 5,007 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 5,007 | 5,007 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 4,120 | 4,120 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 4,120 | 4,120 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | △975 | △733 |
| 当期変動額 | | |
| 当期純利益 | 242 | 305 |
| 当期変動額合計 | 242 | 305 |
| 当期末残高 | △733 | △428 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △35 | △38 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △2 | △0 |
| 当期変動額合計 | △2 | △0 |
| 当期末残高 | △38 | △38 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 8,117 | 8,356 |
| 当期変動額 | | |
| 当期純利益 | 242 | 305 |
| 自己株式の取得 | △2 | △0 |
| 当期変動額合計 | 239 | 305 |
| 当期末残高 | 8,356 | 8,661 |

ロンシール工業株式会社(4224)平成24年3月期決算短信

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 14 | 17 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 3 | 15 |
| 当期変動額合計 | 3 | 15 |
| 当期末残高 | 17 | 33 |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期首残高 | △109 | △149 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △40 | △14 |
| 当期変動額合計 | △40 | △14 |
| 当期末残高 | △149 | △164 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △94 | △131 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △37 | 0 |
| 当期変動額合計 | △37 | 0 |
| 当期末残高 | △131 | △131 |
| 少数株主持分 | | |
| 当期首残高 | 9 | 8 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △1 | △0 |
| 当期変動額合計 | △1 | △0 |
| 当期末残高 | 8 | 8 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 8,031 | 8,233 |
| 当期変動額 | | |
| 当期純利益 | 242 | 305 |
| 自己株式の取得 | △2 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △38 | 0 |
| 当期変動額合計 | 201 | 305 |
| 当期末残高 | 8,233 | 8,538 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 465 | 601 |
| 減価償却費 | 644 | 558 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △5 | △4 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △6 | △9 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 1 | △0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9 | △10 |
| 災害による損失 | 89 | — |
| 売上値引引当金の増減額 (△は減少) | — | 73 |
| 支払利息 | 91 | 73 |
| 手形売却損 | 1 | 1 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 51 | — |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 0 | 0 |
| 有形固定資産除却損 | 10 | 1 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △649 | △661 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 78 | △350 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 483 | 315 |
| その他 | 269 | 294 |
| 小計 | 1,516 | 882 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9 | 10 |
| 利息の支払額 | △91 | △71 |
| 手形売却に伴う支払額 | △1 | △1 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △91 | △93 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,340 | 726 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △124 | △93 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17 | △8 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 7 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △0 |
| その他の支出 | △0 | — |
| その他の収入 | 2 | 5 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △131 | △97 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 490 | 75 |
| 長期借入金の返済による支出 | △551 | △654 |
| 少数株主への配当金の支払額 | — | △1 |
| その他の支出 | △413 | △410 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △474 | △991 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △7 | △5 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 727 | △368 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,306 | 4,033 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,033 | 3,665 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の39.5%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については34.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の純額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は15百万円減少し、法人税等調整額は17百万円、その他有価証券評価差額金は2百万円それぞれ増加しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの報告セグメントの区分方法は製造方法・製造過程ならびに販売方法の類似性を考慮して区分しており、「合成樹脂加工品事業」、「不動産賃貸事業」の2つを報告セグメントとしております。

区分に属する主要な品目は下記の通りであります。

| 報告セグメント | 主要品目 |
|-----------|------------------------------|
| 合成樹脂加工品事業 | 建築用床材、屋上防水材、壁装材、各種防水・室内装飾工事等 |
| 不動産賃貸事業 | ショッピングセンター施設 |

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成ための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注) | 連結財務諸表 計上額 |
|---------------------------|---------------|-------------|--------|--------|---------------|
| | 合成樹脂 加工品事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 16,831 | 466 | 17,297 | — | 17,297 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 16,831 | 466 | 17,297 | — | 17,297 |
| セグメント利益 | 412 | 327 | 739 | — | 739 |
| セグメント資産 | 13,384 | 1,450 | 14,835 | 4,335 | 19,171 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 557 | 86 | 644 | — | 644 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 94 | — | 94 | — | 94 |

(注) 当連結会計年度における資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、4,335百万円であり、その主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産等です。

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注) | 連結財務諸表 計上額 |
|---------------------------|---------------|-------------|--------|--------|---------------|
| | 合成樹脂 加工品事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 17,635 | 466 | 18,101 | — | 18,101 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 17,635 | 466 | 18,101 | — | 18,101 |
| セグメント利益 | 289 | 338 | 627 | — | 627 |
| セグメント資産 | 14,051 | 1,369 | 15,420 | 3,670 | 19,091 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 497 | 61 | 558 | — | 558 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 103 | — | 103 | — | 103 |

(注) 当連結会計年度における資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、3,670百万円であり、その主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産等です。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | |
|--|---------|--|---------|
| 1株当たり純資産額 | 171.51円 | 1株当たり純資産額 | 177.90円 |
| 1株当たり当期純利益 | 5.05円 | 1株当たり当期純利益 | 6.37円 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

| 項目 | 前連結会計年度 (平成23年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日現在) |
|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円) | 8,233 | 8,538 |
| 普通株式に係る純資産額(百万円) | 8,224 | 8,530 |
| 差額の主な内訳(百万円) | | |
| 少数株主持分 | 8 | 8 |
| 普通株式の発行済株式数(千株) | 48,253 | 48,253 |
| 普通株式の自己株式数(千株) | 299 | 301 |
| 1株当たりの純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株) | 47,953 | 47,951 |

2 1株当たり当期純利益金額

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 連結損益計算書上の当期純利益(百万円) | 242 | 305 |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 242 | 305 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 47,975 | 47,952 |

(重要な後発事象)

該当事項ありません。

4. その他

役員の異動

(1) 代表者の異動（平成24年6月28日付予定）

代表取締役社長 かどわき すすむ 門脇 進 （現 東ソー(株) 取締役）

(2) その他の役員の異動（平成24年6月28日付予定）

①新任取締役候補

かどわき すすむ
門脇 進 （現 東ソー(株) 取締役）

当社 代表取締役社長に就任予定

②新任補欠監査役候補

ほりたに こうじ
堀谷 宏志 （現 東ソー(株) 経営管理室）

③退任予定取締役

ほし かずや
星 一也 （現 代表取締役社長）

当社 顧問に就任予定

(3) 役付役員の異動

該当事項はありません。

以上